

いよいよ新校舎へ

校長 川口 真澄

紫陽花が色鮮やかな季節です。梅雨空を突き抜けるかのような夏の日差しが待ち遠しくもあります。

6月29日、江東区大島の新校舎が竣工しました。長期間校舎建築に御尽力いただいた工事関係者の皆様、御協力いただいた地域の皆様、東京都関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

7月下旬に校舎が引き渡されたのち、8月からの移転に向けて、全校挙げて動きだします。まずは学校が建設された「大島」地域を教員が知り、学校移転をお知らせするために、近隣地域への挨拶回りを全教員体制で7月末に実施する予定です。

7月20日の1学期終業式までは、東陽町校舎での安全・安心な学校生活を最優先とし、児童・生徒が新校舎への期待や見通しをもつことができるよう事前指導を始めます。また、8月下旬には登校日を2回設定し、子供達が教員と共に笑顔で、明るく新しい教室に入ることができるよう準備を進めます。

新しい環境に慣れるには、安定したスケジュールと安心できる環境、そして信頼する人間関係が大切です。そのために、いくつかの工夫を重ねました。スクールバスに関わる変更を最小限にと努め、毎朝のバス停の場所から、これまでと同じスクールバスに乗車し通学できるように計画しました。また、東陽町校舎で使用してきた「城東ピクトグラム」等のサインを新校舎の特別教室等に表示し、学習にも活用できるようにしました。その他これまでの障害特性に応じた学習環境や落ち着いて取り組んできた生活スケジュール、4月から築いてきた教員との信頼関係を大切に、一日も早く新しい学校に慣れるよう、児童・生徒一人一人の状況に配慮しながら、全教職員がその過程を注意深く見守っていきます。

新校舎への移転という大きなイベントを通して、子供達が「新しい校舎に来てよかった。」とその経験をプラスと感じ、その伸長が共感できる機会となることを願っています。



小学部1年合同制作